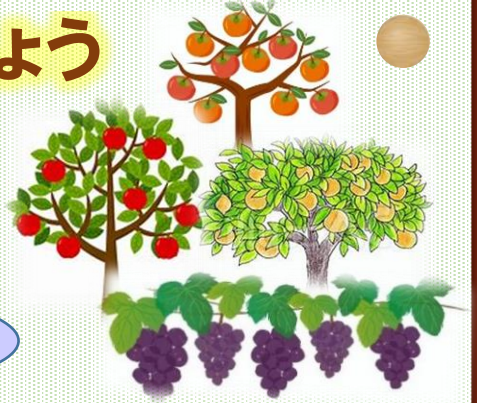




落葉果樹の冬季防除を徹底しましょう

ナシの黒星病やハダニ類など病害虫の越冬密度を減らすため、冬のうちに園内の落葉処理や粗皮削りなど耕種的な防除作業や薬剤防除を行いましょう。



1 園場内の落葉処理などを徹底しましょう

今年、ナシ黒星病が多発生した園は特に徹底しましょう！！

落ち葉
など

黒星病、落葉病、うどんこ病、べと病、さび病、灰色かび病など⇒落葉で越冬

ハダニ類⇒落葉の下で越冬

ブロフ等を利用して出来るだけ丁寧に集め、土中に埋めるなど適切に処分

剪定枝や
巻き蔓など

集めて適切に処分

切り口には、トップジンMペーストかバッチレートを塗布

2 樹幹の粗皮削りなどを行いましょう

厳寒期に粗皮を激しく削ると、凍害を受けやすくなるので注意！！

樹皮の
隙間

各種病原菌やハダニ類、カイガラムシ類、ハマキムシ類、シンクイムシ類などが越冬

樹皮の表面を鎌などで削り取って滑らかにする

輪紋病の丸いイボ皮病斑は、周囲の表皮まで含めて丁寧に削り取り、トップジンMペーストなどで傷口をふさぐ

枝の股を念入りに
削除

3 休眠期の薬剤防除を実施しましょう

新芽が動く前までに散布しましょう！！

風のない穏やかな日に散布しましょう！！

越冬病害

石灰硫黄合剤

石灰硫黄合剤と機械油乳剤の混合は絶対に避ける

機械油乳剤：厳寒期や樹勢の低下した樹への散布は控える

カイガラムシ類やハダニ類

機械油乳剤 95 やアタックオイル

表 1 落葉果樹（ナシ、リンゴ、カキ、ブドウ、ウメ）の冬季における主な防除薬剤（令和 6 年 11 月 18 日現在）

薬剤名	対象樹種	対象病害虫	希釈倍率	使用時期／使用回数	分類
石灰硫黄合剤	落葉果樹	カイガラムシ類、ハダニ類、越冬病害虫	7～10 倍※	発芽前／－	F : M02 I : UN
	ナシ、リンゴ	黒星病	7 倍		
	リンゴ	腐らん病	10 倍	休眠期／－	
機械油乳剤 95	落葉果樹（ナシ、リンゴ、カキ、モモ）	カイガラムシ、サビダニ、ハダニ類及びその越冬卵	16～24 倍	－／－	F : NC I : UNM
	落葉果樹（ぶどうを除く）	カイガラムシ類	12～14 倍		
アタックオイル	ナシ	カイガラムシ類、ハダニ類	50 倍	発芽前／－	F : NC I : UNM
		ニセナシサビダニ	50～100 倍		
	カキ	フジコナカイガラムシ	50 倍		
	クリ、リンゴ	カイガラムシ類	50 倍		

注) 1. 表中の※印は、農薬メーカーにより登録倍率が異なるため、ラベルで確認して使用してください。

2. 石灰硫黄合剤は強アルカリ性のため、散布後の防除器具の洗浄、飛散による自動車等の塗装面の変色、散布者の皮膚への刺激などに注意してください。

3. 表 1 の分類欄には FRAC コード、IRAC コードを記載しました。

■ 農薬使用の際は、必ずラベル及び登録変更に関するチラシ等の記載内容を確認し、飛散に注意して使用して下さい。

■ 営農 News は J A 全農いばらきホームページでもご覧になれます。